

高橋 美博 議員

成年後見制度の

周知・利用促進を

問 制度開始から10年が経つが、利用が広がっていない。本市の状況はどうか。

答 市長申し立て件数は、平成17年度からあわせて9件であったが、今年度は8月末までに6件と増加している。

問 改正介護保険法で、弁護士や司法書士など専門後見人だけでなく、市民後見人の養成と活用が盛り込まれたが、本市の取り組みはどうか。

答 市内の一人暮らし高齢者世帯は1703世帯、夫婦のみの高齢者世帯は1793世帯といずれもここ10年で倍増しており、ニーズは確実に増大すると思われる。市民後見人の育成が必要と認識しており、今年度、市民周知を図るための研修会や、社会福祉協議会と連携した先進地視察などを予定している。



白雲荘との連携が求められる風見の丘（笠原）

「風見の丘」を 利用しやすく

問 風見の丘のオープンにあわせ、白雲荘の浴場が中止となった。老人クラブ送迎バスを風見の丘にも向けるべきではないか。

答 風見の丘へのバスの送迎も可能としているほか、60歳以上の利用料金は半額とし、老人クラブ活動での多目的室の専用利用料は免除するなど、風見の丘への利用を促進している。

寺井 雄二 議員

愛野駅前への

交番設置が必要では

問 安全安心のため、JR愛野駅に交番を設けることが急務と考えるがどうか。

答 エコパのイベントなどにより、多くの人が集まることを踏まえると、JR愛野駅前交番の設置は急務であると認識している。県や県警察本部へ強く要望していきたい。

暴力団排除を積極的に 推進すべきでは

問 袋井市暴力団排除条例を制定し、全ての事業から暴力団を排除すべきと考えるがどうか。

答 市民や事業所への支援、青少年に対する教育の推進など、暴力団の排除に関する施策を推進し、明るいまちづくりを進めるためにも、条例制定に向けて取り組んでいる。

浅羽支所及び

支所周辺施設の連携は

問 各施設が機能的連携を図り、地域活動の中心的な役割を果たすべきであるが、どのように推進していくのか。

答 浅羽支所や周辺施設の機能を十分に生かし、南部地域の拠点として相互に連携を図ってきたい。また、支所を重要な防災拠点と位置づけ、充実を図っていきたい。



交番設置が望まれるJR愛野駅前